教育出版 2025年4月

令和7年度版『小学算数4上・4下』年間指導計画・評価計画（案）

＊は「発展的な学習内容」を含む箇所

★は教育出版のWebサイトに「まなびリンク（デジタルコンテンツ）」がある箇所

＜上巻＞

● みんなで算数をはじめよう！／ペントミノ

4月上旬 （2時間）
p.2～10

時	頁	小単元・小見出し	目標	学習活動（★は「デジタルコンテンツ」）	知識・技能	思考・判断・表現
2	2～10	みんなで算数をはじめよう！／算数で使いたい見方・考え方	①②算数の学習の進め方を理解し、問題解決に生かすことができる。	・「みんなで算数をはじめよう！」及び「算数で使いたい見方・考え方」を見て、算数の学習の進め方について話し合う。	・問題解決の進め方を理解している。	
		ペントミノ		・同じ大きさの正方形を5枚つなげた形（ペントミノ）を、筋道を立てていろいろ見つける。また、ペントミノのうち、ふたのない箱になる形を見つける。 ★ワークシート「いろいろなペントミノ」「箱の形になるペントミノ」を使って活動する。		・正方形を5個つなげた形のいろいろな場合について、筋道を立てて考えたり表現したりしている。

【主体的に学習に取り組む態度】は、単元全体を通じて評価する。

・問いをもち、主体的に考えたり友だちの考えから学び合おうとしたりするとともに、解決の過程や結果を振り返り、よりよい方法を考えたり新たな問いを見いだそうとしたりしている。

1 大きな数

4月上旬～中旬 （9時間）
p.11～24

◆単元の目標と評価規準

〇億、兆の単位について知り、十進位取り記数法についての理解を深め、大きな数の大きさの比べ方や表し方、計算のしかたを統合的に捉える力を身につける。また、その過程を振り返り、十進数としての表現のよさに気づき生活や学習に活用しようとする態度を養う。**【学習指導要領との関連 A(1)ア(ア)、A(1)イ(ア)、内(1)(3)】**

・億、兆の単位について知り、十進位取り記数法についての理解を深め、表すことができる。**<知・技>**

・数のまとまりに着目し、大きな数の大きさの比べ方や表し方を統合的に捉えるとともに、それらを日常生活に生かしている。**<思・判・表>**

・整数の表し方について、数学的に表現・処理したことを振り返り、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしている。**<態度>**

◆指導計画と観点別評価規準

時	頁	小単元・小見出し	目標	学習活動（★は「デジタルコンテンツ」）	知識・技能	思考・判断・表現
5	11～19	億と兆	①一億の位までの数のよみ方、表し方、億の位の数の構成と位取りのしくみを理解する。 ※（問題発見カモデル）本時の活動をとおして、「はてな？」の見つけ方を学習する。	・「いろいろな数を調べよう！」という目的意識から、自分の住む地域（神奈川県）に関する数や、各都道府県の人口などに関心をもち、千万の位までの数について振り返り、数の大きさを比べる。 ・日本の人口と世界の国々の人口を比べる活動にも取り組み、千万の位よりも大きい位の数はどのようによめばよいのかという問いを見いだし、一億の位までの数のよみ方、表し方を知る。 ★まとめアニメ「一億の位」を使って確認・説明する。	・一億の位までの数の構成と位取りのしくみを理解し、表すことができる。	・十進位取り記数法のしくみを統合的に捉え、千兆の位までの数の比べ方や表し方、相対的な大きさを考えている。
			②千億の位までの数のよみ方、表し方、億の位の数の構成と位取りのしくみを理解する。	・世界の人口のよみ方を調べることをとおして、千億の位までの数のよみ方、表し方、数の構成を知り、一億の位から先も、一、十、百、千の繰り返しになっていることをまとめる。 ★まとめアニメ「十億、百億、千億」を使って確認・説明する。	・千億の位までの数の構成と位取りのしくみを理解し、表すことができる。	
			③千兆の位までの数のよみ方、表し方、兆の位の数の構成と位取りのしくみを理解する。	・光が1年間に進む距離を調べることをとおして、千兆の位までの数のよみ方、表し方、数の構成を知る。 ・整数は、右から4桁ごとに区切るとよみやすくなることを知る。 ★まとめアニメ「一兆、十兆、百兆、千兆」を使って確認・説明する。	・千兆の位までの数の構成と位取りのしくみを理解し、表すことができる。	
			④数直線をもとに、大きな数の構成、相対的な大きさを理解する。 何億どうしの加減計算ができる。また「和」「差」の意味を理解する。	・数直線を見て、34億の数の構成、1億をもとにした相対的な大きさなどを考える。 ・35億＋24億、35億－24億のような大きい数の計算のしかたを考える。 ・「和」「差」の意味を知る。	・大きな数の構成や相対的な大きさを理解している。 ・「和」「差」の意味を知るとともに、1億などをもとにした加法、減法の計算ができる。	
			[つながるミカタ]	・整数のしくみについて、位が大きくなっても「一、十、百、千のくり返し」になっていたことを振り返り、ほかの整数の見方にも関心を広げ、次の問題解決につなげる。	・整数を10倍すると位が1桁上がり、1/10にすると位が1桁下がることや、整数は0から9までの10個の数字で表せることなど、十進位取り記数法のしくみを理解している。	
		（整数のしくみ）	⑤10倍、100倍、1/10にした数の大きさと表し方を理解する。 整数は0から9までの10個の数字で表せることを理解する。	・1億2345万を10倍、100倍、1/10にした大きさを調べることをとおして、数を10倍すると位が1桁上がり、1/10にすると位が1桁下がることを知る。 ★まとめアニメ「整数のしくみ」を使って確認・説明する。 ・どんな整数も、0から9までの10個の数字で表せることを知る。		

2	20～21	大きな数のかけ算	⑥3位数×3位数の乗法の計算ができる。また、「積」の意味を理解する。	・285×127のような、3位数×3位数の乗法の計算のしかたを考える。 ・「積」の意味を知る。 ・542×307のような、十の位に空位のある乗法の計算のしかたを考える。	・「積」の意味を知るとともに、3位数×3位数の乗法の計算ができる。	・3位数×3位数の乗法の計算のしかたを、既習の計算をもとにして考えている。
			⑦末位に0がある乗法の計算のしかたを理解する。	・2700×30や24億×20のような、末位に0がある場合の乗法の計算のしかたを、数の相対的な大きさをもとに工夫して考える。	・末位に0がある場合の乗法の計算ができる。	・末位に0がある場合の乗法の計算のしかたを、数の相対的な大きさをもとに工夫して考えている。
			[数の区切り]	・数を3桁ごとにカンマで区切って表すことがあることを知る。		
1	22	学んだことを使おう	⑧大きな数についての量感をもち、整数のしくみについて理解を深める。	・「10年は何秒かな?」という目的意識から、10年を秒単位に換算する式を考える。また、8桁の電卓で計算して桁数が足りなくなる場合に、整数のしくみを用いて工夫して答えを求める。	・大きな数についての量感をもっている。	
			[千兆の位より大きい位]*	・千兆よりも大きい位の命数法について知る。		
1	23～24	まとめ	⑨学習内容の理解を確認し、確実に身につける。	・単元のまとめをする。	・学習内容を理解し、基本的な問題を解決することができる。	・「大きな数」の学習のよさや見方・考え方を振り返っている。
			[古代エジプトの数の表し方を知ろう!](p.161)*	・選択的活動として、古代エジプトで使われていた数の表し方を知り、現代の数の表し方と比べる。 ★ワークシート「古代エジプトの数の表し方を知ろう!」を使って活動する。		

【主体的に学習に取り組む態度】は、単元全体を通じて評価する。

・既習の数の見方や表し方などをもとに、大きな数のしくみについて主体的に考えたり、生活や学習でみられる大きな数を進んで理解しようとしたりしている。

◎ ふく習①

	頁	学習活動
	25	・第3学年「2けたの数のかけ算」「倍の計算」の復習をする。 ・単元2「わり算の筆算」に関わる既習事項を確認する。

2 わり算の筆算

4月下旬～5月中旬（9時間）
p.26～41

◆単元の目標と評価規準

〇除数が1位数で被除数が2位数や3位数の場合の除法について理解し、計算することができるとともに、図や式などを用いて計算のしかたを考える力を身につける。また、その過程において、計算のしかたを多面的に捉え検討して、よりよい方法を粘り強く考える態度を養う。**【学習指導要領との関連 A(3)ア(ア)(イ)(ウ)、A(3)イ(ア)、内(2)】**

・除数が1位数で被除数が2位数や3位数の場合の計算が、基本的な計算をもとにしてできることや、その筆算のしかたについて理解し、除法の計算が確実にできる。また、被除数＝除数×商＋あまりの関係について理解している。**<知・技>**

・数量の関係に着目し、計算のしかたを考えたり計算に関して成り立つ性質を見いだしたりしているとともに、その性質を活用して、計算を工夫したり計算の確かめをしたりしている。**<思・判・表>**

・整数の除法について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしたりしている。**<態度>**

◆指導計画と観点別評価規準

時	頁	小単元・小見出し	目標	学習活動（★は「デジタルコンテンツ」）	知識・技能	思考・判断・表現
8	26～39	（2けた÷1けたの計算）	①2位数÷1位数の除法の計算のしかたを理解する。 ※（問題解決力モデル）本時の活動をとおして、「なるほど！」の見つけ方を学習する。	・「1人分の折り紙は何まいかな？」の活動をきっかけに、63÷3の計算のしかたを振り返るとともに、未習の問題に取り組むことに関心をもつ。 ・72÷3のような、2位数÷1位数の除法の計算のしかたを考える。また、自他の考えを比較し、考え方のよさを振り返ってまとめる。	・2位数÷1位数の除法の計算が、基本的な計算をもとにしてできることを理解している。	・2位数÷1位数の除法の計算のしかたを、既習の計算をもとに図や式などを用いて考えている。
			[友だちのノートを見てみよう]	・教科書のノート例や友だちのノートを見て、ノートの書き方の工夫について話し合う。		
			②2位数÷1位数の除法の筆算のしかたを理解する。	・72÷3のような、2位数÷1位数の除法の筆算のしかたを考える。 ★まとめアニメ「72÷3の筆算のしかた」を使って確認・説明する。	・2位数÷1位数＝2位数であまりがない除法の筆算形式を知り、筆算ができる。	
			③2位数÷1位数であまりのある除法の計算ができ、被除数＝除数×商＋あまりの関係を理解して、計算の確かめに用いることができる。また、「商」の意味を理解する。	・85÷3のような、あまりのある除法の計算のしかたを考える。 ・「商」の意味を知る。 ・あまりのある除法の答えの確かめのしかたを考える。 ★まとめアニメ「わり算のたしかめの式」を使って確認・説明する。	・2位数÷1位数＝2位数であまりのある場合の除法の計算のしかたを理解し、筆算ができる。また、「商」の意味を知るとともに、被除数、除数、商、あまりの間の関係について理解し、計算の確かめに用いることができる。	
			④2位数÷1位数で十の位が整除される場合や、十の位に商が立たない場合の除法の計算ができる。また、2位数÷1位数で商の一の位が0になる場合の除法の計算ができる。	・69÷3のような、十の位が整除される場合や、47÷9のような、十の位の商が立たない場合の除法の計算のしかたを考える。 ・83÷4のような、商の一の位が0になる場合の除法の計算のしかたを考える。	・2位数÷1位数で十の位が整除される場合や、十の位に商が立たない場合の除法、商の一の位が0になる場合の除法の筆算ができる。	
			[つながるミカタ]	・2位数÷1位数の計算のしかたについて、「位ごとに数を分ける」という見方を振り返り、数が大きくなった場合にも関心を広げ、次の問題解決につなげる。	・3位数÷1位数＝3位数の除法の計算のしかたを理解し、筆算ができる。	・3位数÷1位数の除法の計算のしかたを、被除数が2位数の場合の計算をもとに図や式などを用いて考えている。
		（3けた÷1けたの計算）	⑤3位数÷1位数＝3位数の除法の計算ができる。	・600÷3の計算のしかたを100をもとにして考える。 ・736÷3のような、3位数÷1位数＝3位数の除法の計算のしかたを考え、筆算のしかたをまとめる。 ★まとめアニメ「736÷3の筆算のしかた」を使って確認・説明する。		
			⑥3位数÷1位数で商の一の位や十の位に0が立つ除法の計算ができる。	・812÷3や758÷7のような、商の一の位や十の位に0が立つ除法の計算のしかたを考える。	・3位数÷1位数で商の一の位や十の位に0が立つ除法の筆算ができる。	

			⑦3位数÷1位数=2位数の除法の計算ができる。	・214÷6のような、百の位に商が立たない3位数÷1位数=2位数の除法の計算のしかたを考え、筆算のしかたをまとめる。 ★まとめアニメ「214÷6の筆算のしかた」を使って確認・説明する。	・3位数÷1位数=2位数の除法の筆算ができる。	
		（わり算の暗算）	⑧除法の暗算ができる。	・78÷3のような、2位数÷1位数の暗算のしかたを考える。	・2位数÷1位数の除法の暗算ができる。	
1	40～41	まとめ	⑨学習内容の理解を確認し、確実に身につける。	・単元のまとめをする。	・学習内容を理解し、基本的な問題を解決することができる。	・「わり算の筆算」の学習のよさや見方・考え方を振り返っている。
			［いろいろな国の筆算をくらべよう!］（p.162）	・選択的活動として、いろいろな国の除法の筆算形式を知り、日本の筆算のしかたと比べる。 ★ワークシート「いろいろな国の筆算をくらべよう!」を使って活動する。		

【主体的に学習に取り組む態度】は、単元全体を通じて評価する。

・整数の除法の計算のしかたについて、既習の計算などをもとに粘り強く考えたり、数学的に表現・処理したことを振り返り多面的に検討してよりよい方法を見いだそうとしたりしている。

3 折れ線グラフ

5月中旬～下旬 （9時間）
p.42～57

◆単元の目標と評価規準

〇折れ線グラフについて理解し、目的に応じてデータを収集し、データの特徴や傾向に着目してグラフに的確に表現し、それらを用いて問題を解決したり、解決の過程や結果を多面的に捉え考察したりする力を養う。また、その過程を振り返り、グラフの表現のよさに気づき生活や学習に活用しようとする態度を養う。**【学習指導要領との関連 D(1)ア(イ)、D(1)イ(ア)、内(10)】**

・折れ線グラフの特徴について理解し、表したりよみ取ったりすることができる。**<知・技>**

・目的に応じてデータを集めて分類整理し、データの特徴や傾向に着目し、問題を解決するために適切なグラフを選択して判断し、その結論について考察している。**<思・判・表>**

・データの収集とその分析について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしたりしている。**<態度>**

◆指導計画と観点別評価規準

時	頁	小単元・小見出し	目標	学習活動（★は「デジタルコンテンツ」）	知識・技能	思考・判断・表現
7	42～54	（折れ線グラフのかき方）	①②折れ線グラフのよみ方を理解する。	・「気温の様子を表そう！」の活動をきっかけに、1日の気温の変化の様子をわかりやすく表すことに関心をもつ。 ・変化の様子を表すグラフとして、折れ線グラフのよみ方を知る。 ・折れ線グラフの傾きと変化の大きさについてまとめる。 ★まとめアニメ「折れ線グラフのよみとり方」「折れ線グラフの特ちょう」を使って確認・説明する。	・折れ線グラフに表すと、数量の変化の様子をわかりやすく表すことができることなど、折れ線グラフの特徴を理解し、よみ取ることができる。	・時系列データの時間的な変化に着目し、折れ線グラフに表した数量の変化の特徴や傾向などを考察している。
			③④折れ線グラフのかき方を理解する。 2つの折れ線グラフを同じグラフ用紙に表して、変化の様子を比べることができる。	・1日の気温の変化を表すことをとおして、折れ線グラフのかき方を知る。 ★シミュレーション「折れ線グラフツール(1)」を使って活動する。 ・5月15日と16日の気温の変化の折れ線グラフを同じグラフ用紙に表し、それらを関連づけて考察する。 ★シミュレーション「折れ線グラフツール(2)(3)」を使って活動する。	・折れ線グラフのかき方を理解し、表すことができる。また、複数系列の折れ線グラフをよみ取ることができる。	・目的に応じて、複数系列のグラフを同じグラフ用紙に表したり、目盛りの付け方を工夫したりするなど、適切なグラフに表す方法を考えている。
			⑤⑥折れ線グラフの途中の目盛りを波線で省略する場合を理解する。 ※（問題追究カモデル）本時の活動をとおして、「だったら!?」の見つけ方を学習する。	・ハムスターの体重調べをとおして、折れ線グラフでは途中の目盛りを波線で省略して変化の様子を見やすくする場合があることを知る。 ★シミュレーション「折れ線グラフツール(4)」を使って活動する。 ★まとめアニメ「折れ線グラフのめもりの省略」を使って確認・説明する。 ・棒グラフと折れ線グラフを比較してそれぞれの特徴を振り返るとともに、グラフについて次に取り組んでみたいことを考え、新たな問題を発見する。	・途中の目盛りを省略することで、変化の様子を見やすくする場合があることを理解している。	
			⑦折れ線グラフからよみ取れる変化の様子を、日常の事象と関連づけて捉えることができる。	・やかんで水を温めたときの温度の変化にあった折れ線グラフを判断する。 ・ヘチマの草丈の折れ線グラフを見て、よみ取れることとよみ取れないことを判断する。		・折れ線グラフの変化の特徴と具体的な事象とを結びつけ、よみ取れることとよみ取れないことを根拠をもって考察している。
1	55	学んだことを使おう	⑧棒グラフと折れ線グラフを同じグラフ用紙に表し、それらを関連づけて考察することができる。	・「グラフを組み合わせて調べよう！」という目的意識から、気温と降水量の変化のグラフを同じグラフ用紙に表し、それらを関連づけて考察する。 ★シミュレーション「折れ線グラフツール(5)」を使って活動する。 ★外部リンク「過去の気象データ検索」を利用してもよい。	・棒グラフと折れ線グラフを組み合わせたグラフの特徴をよみ取ることができる。	・2つのグラフを関連づけて分析し考察している。

1	56～57	まとめ	⑨学習内容の理解を確認し、確実に身につける。	・単元のまとめをする。	・学習内容を理解し、基本的な問題を解決することができる。	・「折れ線グラフ」の学習のよさや見方・考え方を振り返っている。

【主体的に学習に取り組む態度】は、単元全体を通じて評価する。

・データを分析したりグラフに表したりすることについて、目的意識をもって主体的に考えたり、得られた結論について多面的に捉え考察したりしようとしている。

■ 油分け

5月下旬（1時間）
p.58

時	頁	小単元・小見出し	目標	学習活動	知識・技能	思考・判断・表現
1	58		①筋道を立てて考える力を伸ばす。	・7dLや3dLの容器を使って5dLを量り取る方法を考える。		・7dLや3dLの容器を使って5dLを量り取る方法を、筋道を立てて考えている。

4 角

5月下旬～6月上旬 （8時間）
p.59～72

◆単元の目標と評価規準

〇角の大きさについて理解し、角の大きさを測定したり作図したりすることができるとともに、角の大きさを柔軟に表現したり、図形の考察に生かしたりする力を身につける。また、その過程を振り返り、角の大きさの単位と測定のよさに気づき生活や学習に活用しようとする態度を養う。**【学習指導要領との関連 B(5)ア(ア)(イ)、B(5)イ(ア)】**

・角の大きさを回転の大きさとして捉え、角の大きさの単位「 度(°)」 について理解し、角の大きさを測定することができる。**<知・技>**

・図形の角の大きさに着目し、角の大きさを柔軟に表現したり、図形の考察に生かしたりしている。**<思・判・表>**

・角の大きさについて、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしたりしている。**<態度>**

◆指導計画と観点別評価規準

時	頁	小単元・小見出し	目標	学習活動（★は「デジタルコンテンツ」）	知識・技能	思考・判断・表現
6	59～69	（角のかき方）	①②回転した量としての角の大きさの意味、分度器の機能と使い方、角の大きさの単位「度(°)」を理解する。	・「どちらの口が大きく開いているかな？」の活動をきっかけに、角の意味について振り返るとともに、いろいろな大きさの角をつくることに関心をもつ。 ・2枚の円を重ねて回す活動をとおして、回転の量としての角の大きさの意味を知り、角の大きさの比較・測定のしかたを考える。 ・角の大きさの単位「度(°)」を知り、直角の大きさは90°であることを知る。 ★まとめアニメ「角の大きさの単位 度」を使って確認・説明する。 ・分度器を使った測定のしかたを知る。	・角の大きさを回転の大きさとして捉え、その単位「度（°）」と測定の意味、直角の大きさは90°であることを理解し、分度器を使って角の大きさを測定することができる。	・角の大きさを、既習の量と測定の場合をもとにして、単位のいくつ分で捉えるしかたを考えている。
			③直角を単位にした角の大きさの表し方を理解する。 三角定規の角を調べ、角の大きさの加法性について理解する。	・直角を単位にした角の大きさと表し方を知る。 ★まとめアニメ「直角の何こ分」を使って確認・説明する。 ・三角定規の角の大きさを知る。また、三角定規の角を組み合わせていろいろな大きさの角を作り、角の大きさは加減計算できることを知る。	・直角を単位にした角の大きさの表し方を理解している。また、三角定規の角の大きさを知り、角の大きさの加減計算ができる。	・角の大きさを加法的にみたり乗法的にみたりするなど、柔軟に考えている。
			④180°より大きい角度の測定のしかたを考えることができる。	・180°より大きい角度を、分度器を使って測定するしかたを考え、説明する。 ★まとめアニメ「180°より大きい角度のはかり方」を使って確認・説明する。	・分度器を使って、180°より大きい角の大きさを測定することができる。	
			[つながるミカタ]	・角の大きさについて、長さなどの量と同様に「数と単位」を使って表すという見方を振り返り、角を作図することにも関心を広げ、次の問題解決につなげる。	・分度器を使って、角を作図することができる。	
			⑤分度器を使って、角を作図することができる。	・分度器を使って、35°の角を作図する。 ★動画「角のかき方」を見て確認する。 ・分度器を使って、240°の角を作図する。		
			[直線が交わってできる角度]	・2本の直線が交わってできる角（対頂角）の大きさを調べ、それらが等しくなることを知る。		
			⑥分度器を使って、三角形を作図することができる。	・1つの辺の長さと両端の角度から、分度器を使って三角形を作図する。 ★動画「三角形のかき方」を見て確認する。	・分度器を使って、三角形を作図することができる。	
			[算数ひろば]*	・時計の針が2回転する角度は720°になることから、360°より大きい回転角について知る。		
1	70	学んだことを使おう	⑦身のまわりの角の大きさを調べ、角の大きさについての感覚を豊かにする。	・「身のまわりの角度を調べよう！」という目的意識から、角度を測定する道具を作って、身のまわりの角度を調べる。	・角の大きさについての感覚をもち、身のまわりから角を見いだすことができる。	

1	71～72	まとめ	⑧学習内容の理解を確認し、確実に身につける。 [2つの三角定規でできる角度は?](p.163)	・単元のまとめをする。 ・選択的活動として、2枚の三角定規を組み合わせて、いろいろな角度を作る。 ★ワークシート「2つの三角定規でできる角度は?」を使って活動する。	・学習内容を理解し、基本的な問題を解決することができる。	・「角」の学習のよさや見方・考え方を振り返っている。

【主体的に学習に取り組む態度】は、単元全体を通じて評価する。

・角の大きさの学習を生かし、身のまわりにある図形を角の大きさに着目して捉えようとしている。

◎ ふく習②

	頁	学習活動
	73	・「大きな数」「折れ線グラフ」の復習をする。 ・単元5「2けたの数のわり算」に関わる既習事項を確認する。

5 2けたの数のわり算

6月中旬～7月上旬（14時間）
p.74～91

◆単元の目標と評価規準

〇除数が2位数で被除数が2位数や3位数の場合の除法について理解し、計算ができるとともに、図や式などを用いて計算のしかたを考える力を身につける。また、その過程において、計算のしかたを多面的に捉え検討して、よりよい方法を粘り強く考える態度を養う。**【学習指導要領との関連 A(3)ア(ア)(イ)(ウ)(エ)、A(3)イ(ア)、内(4)】**

・除数が2位数で被除数が2位数や3位数の場合の計算が、基本的な計算をもとにしてできることや、その筆算のしかたについて理解し、除法の計算が確実にできる。また、除法に関して成り立つ性質について理解している。**<知・技>**

・数量の関係に着目し、計算のしかたを考えたり計算に関して成り立つ性質を見いだしたりしているとともに、その性質を活用して、計算を工夫したり計算の確かめをしたりしている。**<思・判・表>**

・整数の除法について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしたりしている。**<態度>**

◆指導計画と観点別評価規準

時	頁	小単元・小見出し	目標	学習活動（★は「デジタルコンテンツ」）	知識・技能	思考・判断・表現
1～11	74～88	（何十でわる計算）	①何十÷何十や、何百何十÷何十の除法の計算のしかたを理解する。	・「80まいの折り紙を分けよう！」の活動をきっかけに、既習の計算を振り返るとともに、未習の問題に取り組むことに関心をもつ。 ・80÷20のような、何十÷何十の除法の計算を10をもとにして考える。 ★まとめアニメ「10をもとにしたわり算」を使って確認・説明する。	・何十÷何十、何百何十÷何十の除法の計算ができる。	・何十÷何十、何百何十÷何十の除法の計算のしかたを、10をもとにして考えている。
			②何百何十÷何十であまりのある除法の、あまりの大きさについて理解する。	・140÷40のような、何百何十÷何十であまりのある除法の、あまりの大きさについて考える。	・何百何十÷何十であまりのある除法の、あまりの大きさについて理解し、計算ができる。	
		（2けた÷2けたの計算）	③④2位数÷2位数の除法の計算のしかたを理解し、筆算ができる。	・85÷21のような、2位数÷2位数の除法の計算のしかたを考え、筆算のしかたをまとめる。 ★まとめアニメ「85÷21の筆算のしかた」を使って確認・説明する。	・2位数÷2位数の除法の商の見つけ方を理解し、筆算ができる。	・2位数÷2位数の除法の計算のしかたを、既習の計算をもとに考えている。
		（商の見つけ方①）	⑤除数を切り捨てる仮商の見つけ方と、仮商（過大商）の修正のしかたを理解する。	・94÷32のような、仮商修正が1回ある除法の計算のしかたを考える。 ・61÷13のような、仮商修正が2回以上ある除法の計算のしかたを考える。 ★まとめアニメ「商の見つけ方① 商が大きすぎたとき」を使って確認・説明する。	・2位数÷2位数の除法の仮商修正のしかたを理解し、筆算ができる。（過大商の場合）	
		（商の見つけ方②）	⑥除数を切り上げる仮商の見つけ方と、仮商（過小商）の修正のしかたを理解する。	・87÷17の計算で、仮商を立てるときに除数を切り捨てる場合と切り上げる場合について考えることをとおして、見当をつけた商が小さすぎた場合の計算のしかたを考える。 ★まとめアニメ「商の見つけ方② 商が小さすぎたとき」を使って確認・説明する。	・2位数÷2位数の除法の仮商修正のしかたを理解し、筆算ができる。（過小商の場合）	
			[つながるミカタ]	・2位数÷2位数の計算のしかたについて、わる数を「何十とみて商の見当をつけて、あとで調整する」という見方を振り返り、数が大きくなった場合にも関心を広げ、次の問題解決につなげる。	・3位数÷2位数＝1位数の除法の筆算ができる。	・3・4位数÷2位数の除法の計算のしかたを、被除数が2位数の場合の計算をもとに考えている。
		（3けた÷2けたの計算）	⑦3位数÷2位数＝1位数の除法の計算ができる。	・172÷21や268÷35のような、3位数÷2位数＝1位数の除法の計算のしかたを考える。		
			⑧3位数÷2位数＝2位数の除法の計算ができる。	・385÷12のような、3位数÷2位数＝2位数の除法の計算のしかたを考え、筆算のしかたをまとめる。 ★まとめアニメ「385÷12の筆算のしかた」を使って確認・説明する。	・3位数÷2位数＝2位数の除法の商の見つけ方を理解し、筆算ができる。	
			⑨4位数÷2位数の除法の計算ができる。	・6522÷27のような、4位数÷2位数の除法の計算のしかたを考える。 ・2776÷46や3016÷28のような、商に0が立つ除法の計算のしかたを考える。	・4位数÷2位数の除法の筆算ができる。	

		（わり算のきまり）	⑩被除数と除数に同じ数をかけても、同じ数でわっても、商は変わらないことを理解する。	・□÷○=4の□と○にあてはまる数を考え、被除数と除数の関係を考えることをとおして、除法のきまりを知る。 ★まとめアニメ「わり算のきまり」を使って確認・説明する。	・被除数と除数に同じ数をかけても、同じ数でわっても、商は変わらないことを理解している。	・除法に関して成り立つ性質を調べてきまりを見いだすとともに、それを活用して、末位に0がある場合の除法の計算のしかたを工夫して考えている。
			⑪乗法のきまりと除法のきまりを対比し、理解を深める。	・40×2と80÷2という式について、被乗数や被除数、乗数や除数を10倍すると積や商はどのように変わるか調べて、乗除の計算のきまりをまとめる。	・被乗数や被除数、乗数や除数を10倍したときの積や商の大きさなど、乗法と除法のきまりを対比して理解している。	
			⑫末位に0がある除法の計算のしかたを理解する。	・3600÷900や1900÷800のような、末位に0がある場合の除法の計算のしかたを、除法のきまりを用いて工夫して考える。 ★まとめアニメ「わり算のきまりを使った計算」を使って確認・説明する。	・末位に0がある場合の除法の計算ができる。	
1	8 9	学んだことを使おう	⑬身のまわりの事象を数理的に捉え、除法についての学習などを活用して問題を解決することができる。	・本棚を作るのに必要な材料がいくつ分あるかを考え、手持ちの材料で本棚をいくつ作ることができるかを考える。		・問題の条件を整理し、解決のしかたについて、除法の式や答えを用いるなどして筋道を立てて考え表現している。
1	9 1 9 0 〜	まとめ	⑭学習内容の理解を確認し、確実に身につける。	・単元のまとめをする。	・学習内容を理解し、基本的な問題を解決することができる。	・「2けたの数のわり算」の学習のよさや見方・考え方を振り返っている。

【主体的に学習に取り組む態度】は、単元全体を通じて評価する。

・整数の除法の計算のしかたについて、既習の計算などをもとに粘り強く考えたり、数学的に表現・処理したことを振り返り多面的に検討してよりよい方法を見いだそうとしたりしている。

6 がい数

7月上旬～中旬 （9時間）
p.92～107

◆単元の目標と評価規準

〇概数や四捨五入について理解し、目的に応じて概数で表したり、四則計算の結果の見積もりをしたりすることができるとともに、目的に合った数の処理のしかたを考える力を身につける。また、その過程を振り返り、概数を用いるよさに気づき生活や学習に活用しようとする態度を養う。**【学習指導要領との関連 A(2)ア(ア)(イ)(ウ)、A(2)イ(ア)】**

・概数が用いられる場合や四捨五入について知り、目的に応じて概数を作ったり、四則計算の結果の見積もりをしたりすることができる。**<知・技>**

・日常の事象における場面に着目し、目的に合った数の処理のしかたを考えるとともに、それを日常生活に生かしている。**<思・判・表>**

・概数について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしたりしている。**<態度>**

◆指導計画と観点別評価規準

時	頁	小単元・小見出し	目標	学習活動（★は「デジタルコンテンツ」）	知識・技能	思考・判断・表現
4	92～98		①概数の意味、概数を用いる目的やよさを理解する。	・「本当にぴったりの数なのかな？」の活動をきっかけに、図鑑などに載っているぴったりの数値に関心をもつ。 ・6600万年前や46億年前のようなおよその数についての話し合いをとおして、概数の意味を知る。	・概数の意味や概数が用いられる場合について理解している。	・日常生活で用いられている数が、概数で表された数かどうかを判断するなど、概数の意味や概数を用いる目的について考えている。
			②四捨五入の意味を理解し、四捨五入して「〇の位までの概数にする」ことができる。	・マラソン大会の参加者数を概数で表すしかたを数直線をもとに考え、四捨五入して「〇の位までの概数にする」しかたを知る。 ★まとめアニメ「四捨五入」を使って確認・説明する。	・四捨五入の意味を理解し、四捨五入して「〇の位まで」の概数にすることができる。	
			③四捨五入して「上から〇桁の概数にする」ことができる。	・四捨五入して「上から〇桁の概数にする」しかたを知る。 ★まとめアニメ「がい数の表し方」を使って確認・説明する。	・四捨五入して「上から〇桁」の概数にすることができる。	
			④四捨五入して概数にしたときの、もとの数の範囲について理解する。また、「以上」「以下」「未満」の意味を理解する。	・四捨五入して百の位までの概数にしたときに700になる数の範囲を考える。 ・以上、以下、未満の意味を知り、これらの言葉を用いて数の範囲を表す。 ★まとめアニメ「がい数のはんい」を使って確認・説明する。	・以上、以下、未満の意味を理解している。	・数直線などをもとに、四捨五入によって表した概数のもとの数の範囲について考えている。
3	99～103	がい数を使った計算	[つながるミカタ]	・「およその数のほうが、大きさがとらえやすい場合がある」という概数のよさを振り返り、日常生活に概数を活用することに関心をもち、次の問題解決につなげる。	・計算の結果のおよその大きさを捉える場面で、概算を用いる場合があることを理解し、和や差を概数で見積もることができる。	
			⑤和や差を概数で見積もることができる。	・買い物の合計金額を見積もる場面で、197＋128＋173のような加法を200＋100＋200とみて、概算する場合があることを知る。 ★まとめアニメ「和や差の見積もり」を使って確認・説明する。		
			⑥積や商を概数で見積もることができる。	・代金の合計金額を見積もる場面で、98×42を100×40、6000÷42を6000÷40とみて、概算する場合があることを知る。	・積や商を概数で見積もることができる。	

			⑦切り上げ、切り捨ての意味を理解し、目的に応じて用いることができる。	・買い物をするときに500円で足りるかを考える場面で、それぞれの代金を切り上げて見積もるしかたを知る。 ★まとめアニメ「切り上げ」を使って確認・説明する。 ・買い物をするときに500円以上になるかを考える場面で、それぞれの代金を切り捨てて見積もるしかたを知る。 ★まとめアニメ「切り捨て」を使って確認・説明する。	・切り上げ、切り捨ての意味を理解している。	・切り上げや切り捨てによって表される概数の意味について考え、どのような場合に用いるとよいか判断している。
1	104～105	学んだことを使おう	⑧目的に合った概数の表し方や用い方を考えることができる。	・「目標まであと何まい？」という目的意識から、使用済み切手の枚数を概数を用いて棒グラフに表したり、目標の枚数を達成するには約何枚の切手を集めればよいか見積もったりする。		・日常の事象における場面に着目し、目的に合った概数の表し方や用い方を考えている。
			[がい数さがし]	・インターネットや本などで、概数で表されているものを見つける。		
1	106～107	まとめ	⑨学習内容の理解を確認し、確実に身につける。	・単元のまとめをする。	・学習内容を理解し、基本的な問題を解決することができる。	・「がい数」の学習のよさや見方・考え方を振り返っている。
			[いろいろな見積もりの方法で計算してみよう！]（p.164）	・選択的活動として、いろいろな見積もりのしかたを知り、実際に取り組んでみる。 ★ワークシート「いろいろな見積もりの方法で計算してみよう！」を使って活動する。		

【主体的に学習に取り組む態度】は、単元全体を通じて評価する。

・概数を用いると物事の判断や処理が容易になるなどのよさに気づき、目的に応じて概数で事象を把握しようとしたり、生活や学習に活用しようとしたりしている。

■ こわれた電たく

7月中旬（1時間）
p.108

時	頁	小単元・小見出し	目標	学習活動	知識・技能	思考・判断・表現
1	108		①乗法に関して成り立つ性質について理解を深める。	・5のキーを使わないで、18×25の答えを表示させる方法を、乗法に関して成り立つ性質などを用いて考える。		・18×25と答えが同じになる式を、乗法に関して成り立つ性質を用いて考えている。

◎ ふく習③

	頁	学習活動
	109	・「角」「2けたの数のわり算」「大きな数」の復習をする。 ・単元7「垂直、平行と四角形」に関わる既習事項を確認する。

7 垂直、平行と四角形

9月上旬～下旬（14時間）
p.110～133

◆単元の目標と評価規準

〇直線の垂直や平行の関係及び台形、平行四辺形、ひし形について理解し、図形の性質を見いだしたり構成のしかたを考えたりする力を身につける。また、その過程において、多面的に捉え検討してよりよい方法を粘り強く考える態度や、学習したことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。**【学習指導要領との関連 B(1)ア(ア)(イ)、B(1)イ(ア)、内(7)】**

・直線の垂直や平行の関係及び台形、平行四辺形、ひし形について理解し、それらの図形を作図することができる。**<知・技>**

・図形を構成する要素及びそれらの位置関係に着目し、構成のしかたを考察し図形の性質を見いだしているとともに、その性質をもとに既習の図形を捉え直している。**<思・判・表>**

・台形、平行四辺形、ひし形などについて、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしたりしている。**<態度>**

◆指導計画と観点別評価規準

時	頁	小単元・小見出し	目標	学習活動（★は「デジタルコンテンツ」）	知識・技能	思考・判断・表現
6	110～119	垂直と平行	①垂直の意味を理解する。	・「写真と同じ場所の地図はどちらかな？」の活動をきっかけに、写真と地図の道の交わり方や並び方に関心をもつ。 ・地図を見て、直線の交わり方を調べ、垂直の意味を知る。 ★まとめアニメ「垂直」を使って確認・説明する。	・垂直の意味を理解している。	・図形を観察する観点として、直線の位置関係に着目している。
			②平行の意味、性質を理解する。	・地図を見て、直線の並び方を調べ、平行の意味を知る。 ★まとめアニメ「平行」を使って確認・説明する。 ・平行な2直線の幅を調べ、2直線の幅はどこも等しいことや、2直線をどこまで伸ばしても交わらないことを知る。 ★まとめアニメ「平行な直線のせいしつ（1）」を使って確認・説明する。	・平行の意味、及び平行な2本の直線の幅はどこも等しくなっていることを理解している。	
			③平行の性質を理解する。	・平行な直線と交わる直線が作る角の大きさを調べ、平行な直線はほかの直線と等しい角度で交わることを知る。 ★まとめアニメ「平行な直線のせいしつ（2）」を使って確認・説明する。	・平行な直線はほかの直線と等しい角度で交わることを理解している。	
		（垂直、平行な直線のかき方）	④⑤垂直な直線、平行な直線の作図のしかたを理解する。	・方眼を使って、垂直や平行な直線の作図のしかたを考える。 ・1組の三角定規を使って、垂直な直線の作図のしかたを考える。 ★動画「垂直な直線のかき方」を見て確認する。 ・1組の三角定規を使って、平行な直線の作図のしかたを考える。 ★動画「平行な直線のかき方」を見て確認する。	・垂直な直線、平行な直線を作図することができる。	・垂直、平行の定義や性質をもとに、それらの直線の構成のしかたを考えている。
			⑥垂直、平行な直線の作図のしかたをもとに、長方形を作図することができる。	・垂直、平行な直線の作図のしかたをもとに、縦5㎝、横8㎝の長方形のかき方を考える。	・長方形の作図のしかたを、垂直、平行な直線の作図のしかたをもとに考えている。	
			[垂直や平行を作ろう]	・紙を折って垂直な直線や平行な直線を作る。		

7	120～131	四角形	[つながるミカタ]	・「垂直や平行」という図形の見方を振り返り、身のまわりのものの形の観察をとおして四角形の中にも垂直や平行な辺があることに着目し、次の問題解決につなげる。	・台形、平行四辺形の意味を理解している。	・四角形について、辺の位置関係に着目して分類し、分類した四角形の特徴を見いだしている。
			⑦台形、平行四辺形の意味を理解する。	・方眼にかいた図の中から見つけたいろいろな四角形を、辺の並び方に着目して分類し、台形、平行四辺形について知る。 ★まとめアニメ「台形」「平行四辺形」を使って確認・説明する。		
			⑧平行四辺形の性質を理解する。	・平行な2直線を使って台形、平行四辺形をかく。 ・平行四辺形の辺の長さや角の大きさを調べ、向かい合った辺の長さや角の大きさはそれぞれ等しいことを知る。 ★まとめアニメ「平行四辺形のせいしつ」を使って確認・説明する。	・平行四辺形の向かい合った辺の長さ、及び角の大きさはそれぞれ等しいことを理解している。	
			⑨ひし形の意味、性質を理解する。	・紙を4つに折ってかどを切り取ってできる四角形を調べることをとおして、ひし形について知る。 ・ひし形の辺の並び方や角の大きさを調べ、向かい合った辺は平行なことや、向かい合った角の大きさは等しいことを知る。 ★まとめアニメ「ひし形」「ひし形のせいしつ」を使って確認・説明する。	・ひし形の意味を理解している。また、ひし形の向かい合った辺は平行で、向かい合った角の大きさは等しいことを理解している。	
		（いろいろな四角形のかき方）	⑩平行四辺形の作図のしかたを理解する。	・平行四辺形の意味や性質をもとに、作図のしかたを考える。	・平行四辺形を作図することができる。	・平行四辺形、台形、ひし形の定義や性質をもとに、それらの図形の作図のしかたを考えている。
			⑪台形、ひし形の作図のしかたを理解する。	・台形やひし形の意味や性質をもとに、作図のしかたを考える。 ・円の半径を用いてひし形をかく。	・台形、ひし形を作図することができる。	
		（四角形の対角線）	⑫対角線の意味、四角形の対角線の性質を理解する。	・対角線について知り、いろいろな四角形の対角線の長さや交わり方を調べる。 ★まとめアニメ「対角線」を使って確認・説明する。	・対角線の意味、基本的な四角形の対角線の性質を理解している。	
			⑬平行四辺形や台形の性質をもとに、それらを敷き詰めた図のかき方を考え、理解を深める。	・同じ形(合同)の平行四辺形や台形を敷き詰めた図のかき方を考える。		・平行四辺形や台形を敷き詰めた図の中にほかの図形を認めたり、平行線の性質に気づいたりして表現している。
1	133～132	まとめ	⑭学習内容の理解を確認し、確実に身につける。	・単元のまとめをする。	・学習内容を理解し、基本的な問題を解決することができる。	・「垂直、平行と四角形」の学習のよさや見方・考え方を振り返っている。

【主体的に学習に取り組む態度】は、単元全体を通じて評価する。

・既習の図形の見方などをもとに、台形、平行四辺形、ひし形の性質や構成のしかたを主体的に考えたり、身のまわりから垂直や平行の関係にあるものや、台形、平行四辺形、ひし形を見つけたりしようとしている。

8 式と計算

9月下旬～10月上旬（7時間）
p.134～144

◆単元の目標と評価規準

〇数量の関係を表す式、及び計算に関して成り立つ性質について理解し、正しく計算することができるとともに、数量の関係を式に表したり式の意味をよみ取ったりする力を身につける。また、その過程を振り返り、式のよさに気づき生活や学習に活用しようとする態度を養う。**【学習指導要領との関連 A(6)ア(ア)(イ)(ウ)、A(6)イ(ア)、A(7)ア(ア)、A(7)イ(ア)、内(6)】**

・四則の混合した式や( )を用いた式について理解し、正しく計算することができる。また、四則に関して成り立つ性質についての理解を深め、その関係を〇、△などを用いて式に表したり、数をあてはめて調べたりすることができる。**<知・技>**

・問題場面の数量の関係に着目し、数量の関係を簡潔に、また一般的に表現したり、式の意味をよみ取ったりしている。また、計算に関して成り立つ性質を用いて計算のしかたを考えている。**<思・判・表>**

・数量の関係を表す式、及び計算に関して成り立つ性質に関わることについて、数学的に表現・処理したことを振り返り、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしている。**<態度>**

◆指導計画と観点別評価規準

時	頁	小単元・小見出し	目標	学習活動（★は「デジタルコンテンツ」）	知識・技能	思考・判断・表現
6	134～142	（計算のきまり）	①( )を用いた式の計算順序を理解する。(加法と減法)	・「買い方を式に表そう！」の活動をきっかけに、パンとジュースの買い方の違いを式に表すことに関心をもつ。 ・500円で230円のパンと150円のジュースを買ったときの残金を求める場面を、( )を用いて1つの式に表す。	・加法と減法の2段階の場面で、( )の中をひとまとまりとみて先に計算することを理解している。	・式をよみ、具体的な場面や思考の筋道を考えている。
			②( )を用いた式の計算順序を理解する。(四則混合)	・1本50円の色鉛筆の赤を12本、青を8本買うときの代金を、( )を用いて1つの式に表す。 ・1個20円のあめが1袋に3個入っているとき、180円で何袋買えるかを求める場面を、( )を用いて1つの式に表す。	・乗法と加法や、除法と乗法の2段階の場面で、( )の中をひとまとまりとみて先に計算することを理解している。	
			③乗法や除法は、( )がなくても加法や減法よりも先に計算することを理解する。	・200枚の折り紙から30枚ずつ5人に配った残りの枚数を、( )を用いずに1つの式に表せることを知る。 ・100円の消しゴムと、480円の鉛筆を半額で買うときの代金を求める場面を、( )を用いずに1つの式に表せることを知る。	・乗法や除法は、( )がなくても加法や減法より先に計算することを理解している。	
			④四則の混合した式や、( )を用いた式の計算順序についてまとめ、理解を深める。	・6×8−4÷2の式に、( )がある場合とない場合の計算順序の違いを比べることをとおして、( )を用いた式や四則の混合した式の計算順序についてまとめる。 ★まとめアニメ「計算の順序」を使って確認・説明する。	・四則の混合した式や、( )を用いた式の計算順序を理解し、正しく計算することができる。	
			⑤乗法と加法、減法の分配法則を理解する。また、既習の計算法則を〇、△などの記号を用いた式に表し、理解を深める。	・切手の代金を求める場面で、(100+10)×5と100×5+10×5を比べることをとおして、乗法と加法の分配法則を知る。 ・乗法と減法の分配法則をアレイ図を用いて説明する。 ・分配法則、交換法則、結合法則を〇、△などの記号を用いた式に表し、数をあてはめて成り立つことを確かめる。 ★まとめアニメ「分配のきまり」「交かんのきまり」「結合のきまり」を使って確認・説明する。	・乗法と加法、減法の分配法則を理解するとともに、交換法則や結合法則も含めて計算のきまりを〇、△などを用いて一般的な式に表し、〇、△などに数をあてはめて調べることができる。	・四則計算に関して成り立つ性質について、場面や図などをもとに考えている。
			[つながるミカタ]	・いろいろな計算のきまりを学習したことを振り返り、計算のきまりを活用することにも関心を広げ、次の問題解決につなげる。	・計算のきまりを用いて工夫して計算をすることができる。	
			⑥計算のきまりを用いて工夫して計算をすることができる。	・きりのよい数になるように組み合わせたり、99を(100−1)とみたりするなどの工夫をして、計算をする。		

1	144 143～	まとめ	⑦学習内容の理解を確認し、確実に身につける。	・単元のまとめをする。	・学習内容を理解し、基本的な問題を解決することができる。	・「式と計算」の学習のよさや見方・考え方を振り返っている。
			[4つの4でいくつができる?](p.165)	・選択的活動として、4つの4と演算記号、( )を用いて、答えが0から9になる式を考える。 ★ワークシート「4つの4でいくつができる?」を使って活動する。		

【主体的に学習に取り組む態度】は、単元全体を通じて評価する。

・式のよさに気づき、主体的に式に表現したり式の意味を考えたりするなど、生活や学習に活用しようとしている。

＜下巻＞

9 面積

10月上旬～下旬（12時間）
p.4～24

◆単元の目標と評価規準

〇平面図形の面積、及び公式についての考え方を理解し、長方形や正方形の面積の求め方を考える力を身につける。また、その過程を振り返り、面積の単位と計算による求め方のよさに気づき生活や学習に活用しようとする態度を養う。**【学習指導要領との関連 A(6)ア(イ)、B(4)ア(ア)(イ)、B(4)イ(ア)、内(8)】**

・面積の単位「㎠、㎡、㎢、a、ha」と測定の意味、単位の関係について理解し、長方形及び正方形の面積を公式を用いて求めることができる。**＜知・技＞**

・面積の単位や図形を構成する要素に着目し、図形の面積の求め方を考えているとともに、面積の単位とこれまでに学習した単位との関係を考察している。**＜思・判・表＞**

・長方形や正方形の面積について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしたりしている。**＜態度＞**

◆指導計画と観点別評価規準

時	頁	小単元・小見出し	目標	学習活動（★は「デジタルコンテンツ」）	知識・技能	思考・判断・表現
1～11	4～22	（長方形や正方形の面積）	①②面積の意味、面積の比べ方、面積の単位「㎠」を理解する。	・「どの花だんが広いかな？」の活動をきっかけに、3つの花だんの広さの比べ方に関心をもつ。 ・長方形と正方形の広さを比べることをとおして、面積の比較・測定のしかたや意味について考える。 ・面積の単位「平方センチメートル(㎠)」を知る。	・単位のいくつ分かによって面積を表せることや、面積の意味、面積の単位「㎠」を理解している。	・面積の意味について長さやかさなどの場合をもとにして考えるとともに、測定の考えを用い、図形を構成する要素に着目することで、長方形や正方形の面積の求め方を見いだしている。
			③長方形の面積を計算で求めるしかたを理解する。	・長方形の面積を計算で求めるしかたを考える。	・必要な部分の長さを用いることで、長方形の面積は計算によって求められることを理解している。	
			④正方形の面積を計算で求めるしかた、及び長方形と正方形の面積の公式を理解する。	・正方形の面積を計算で求めるしかたを考える。 ・長方形、正方形の面積を計算で求めるしかたを公式にまとめる。 ・公式の意味を知る。 ★まとめアニメ「長方形、正方形の面積の公式」を使って確認・説明する。	・公式が一般的な数量の関係を表していることなど、公式についての考え方を理解し、長方形や正方形の面積を公式を用いて求めることができる。	
		（大きな面積の単位）	⑤面積の単位「㎡」と単位の関係を理解する。	・教室のような広いところの面積は、1辺が1mの正方形の面積を単位にして表すとよいことを知り、面積の単位「平方メートル(㎡)」を知る。 ・1㎡と1㎠の関係を調べ、1㎡＝10000㎠を知る。 ★まとめアニメ「面積の単位　平方メートル」を使って確認・説明する。	・面積の単位「㎡」を知り、1㎡＝10000㎠の関係を理解している。	
			⑥面積の公式は、辺の長さの単位をそろえて用いることを理解する。	・縦がcm単位、横がm単位で表されている長方形の面積の求め方を考える。	・面積の公式は、辺の長さの単位をそろえて用いることを理解している。	
			⑦長方形の面積公式を用いて、面積と1辺の長さから、もう1辺の長さを求めることができる。	・面積が2400㎠で横の長さが60cmの長方形の形をした机の縦の長さを、面積の公式を用いて求めるしかたを考える。	・長方形の面積公式を用いて、面積と1辺の長さから、もう1辺の長さを求めることができる。	
			[1㎡の大きさ]	・1㎡の正方形に入る人数を調べることをとおして、1㎡の大きさを体感する。		
			⑧面積の単位「㎢」と単位の関係を理解する。	・面積の単位「平方キロメートル(㎢)」を知り、1㎢＝1000000㎡を知る。 ★まとめアニメ「面性の単位　平方キロメートル」を使って確認・説明する。	・面積の単位「㎢」を知り、1㎢＝1000000㎡の関係を理解している。	
			⑨面積の単位「a、ha」と単位の関係を理解する。 長さの単位と面積の単位の関係をまとめ、理解を深める。	・面積の単位「アール(a)」を知り、1a＝100㎡を知る。 ・面積の単位「ヘクタール(ha)」を知り、1ha＝10000㎡を知る。 ★まとめアニメ「面積の単位　アール」「面積の単位　ヘクタール」を使って確認・説明する。 ・長さの単位をもとに、面積の単位の関係をまとめる。	・面積の単位「a」を知り、1a＝100㎡の関係を理解している。また、面積の単位「ha」を知り、1ha＝10000㎡の関係を理解している。	・長さの単位と面積の単位の関係を考察している。

			⑩身のまわりの長方形や正方形の面積を求めることができる。	・机や教室など長方形や正方形の形をしたものの面積を予想してから求めたり、100㎠や100㎡などに近い面積のものを探したりする。	・身のまわりの長方形や正方形の面積についておよその見当をつけ、公式を用いて面積を求めることができる。	
			[つながるミカタ]	・面積は「1㎠や1㎡などの単位を決めて、その何個分で表せる」という見方を振り返り、長方形や正方形以外の図形の面積を求めることにも関心を広げ、次の問題解決につなげる。		・長方形を組み合わせた形の面積の求め方を、図や式、言葉などを用いて考えたり表現したりしている。
		（面積の公式を使って）	⑪複合図形の面積の求め方を考え説明し、面積の公式についての理解を深める。 ※（問題解決力モデル）本時の活動をとおして、問題解決の進め方を学習する。	・長方形を組み合わせた図形の面積の求め方を考え、図や式、言葉などを用いて説明する。また、自他の考えを比較し、考え方のよさを振り返ってまとめる。		
			[友だちのノートを見てみよう]	・教科書のノート例や友だちのノートを見て、ノートの書き方の工夫について話し合う。		
			[つながるミカタプラス]	・「分けて求めて、あとでたす」や「ないところをあるとみて求めて、あとでひく」という見方は、複合図形の面積を求める場合だけでなく、計算のしかたを工夫する場合や、180度を超える角度を測定する場合にも用いてきたことを振り返り、既習事項をもとに考えるための共通の見方として統合する。		
1	23～24	まとめ	⑫学習内容の理解を確認し、確実に身につける。	・単元のまとめをする。	・学習内容を理解し、基本的な問題を解決することができる。	・「面積」の学習のよさや見方・考え方を振り返っている。
			[100㎠の四角形を作ろう!]（p.156～157）	・選択的活動として、面積が25㎠の4つの直角三角形を組み合わせて、面積が100㎠の四角形を作る。 ★ワークシート「100㎠の四角形を作ろう!」を使って活動する。		

【主体的に学習に取り組む態度】は、単元全体を通じて評価する。

・面積の大きさを数値化して表すことのよさに気づき、面積の単位と計算による求め方について粘り強く考えようとしている。

■ つないだ輪を切って

10月下旬（1時間）
p.25

時	頁	小単元・小見出し	目標	学習活動	知識・技能	思考・判断・表現
1	25		①つないだ輪を切ってできる形について、図形の性質に着目して筋道を立てて考え説明し、図形についての感覚を豊かにする。	・同じ大きさの輪を垂直に貼り合わせ、輪の中心に沿って切ってできる形について考える。 ・輪を大小にした場合や貼り合わせ方を斜めにした場合など、条件を変えてできる形について考える。		・つないだ輪を切ってできる形について、正方形ができた場合をもとに、条件を変えたときにどのような形ができるかを図形の性質に着目して考えている。

10 整理のしかた

10月下旬～11月上旬 （6時間）
p.26～37

◆単元の目標と評価規準

〇データを2つの観点から分類整理する方法について理解し、目的に応じてデータを収集し、二次元表に表したりよんだりすることができるとともに、それらを用いて問題を解決したり、解決の過程や結果を多面的に捉え考察したりする力を身につける。また、その過程を振り返り、二次元表の表現のよさに気づき生活や学習に活用しようとする態度を養う。**【学習指導要領との関連 D(1)ア(ア)、D(1)イ(ア)、内(9)】**

・データを2つの観点から分類整理する方法を理解し、二次元表に表したりよんだりすることができる。**<知・技>**
・目的に応じてデータを集めて分類整理し、データの特徴や傾向に着目し、二次元表を用いて問題を解決したり、その結論について考察したりしている。**<思・判・表>**
・データの収集とその分析について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしたりしている。**<態度>**

◆指導計画と観点別評価規準

時	頁	小単元・小見出し	目標	学習活動（★は「デジタルコンテンツ」）	知識・技能	思考・判断・表現
4	26～33		①②データを2つの観点から分類整理する方法を理解し、二次元表に表して特徴を調べることができる。	・「ポスターをはる場所を考えよう！」の活動をきっかけに、1週間のけがの種類とけがをした場所を整理することに関心をもち、それぞれ落ちや重なりがないように調べて表にまとめる。 ・けがの種類と場所の2つの事柄がわかりやすくなるように二次元表に表して、その特徴を調べる。	・データを二次元表に表したり、よんだりすることができる。	・データの特徴や傾向に着目し、落ちや重なりがないように2つの観点から分類整理し、その過程や結果について考えている。
			[つながるミカタ]	・けがの種類と場所という2つの事柄が、「1つの表に整理すると、ひとめでわかるようになる」というよさを振り返り、ほかの場面についても二次元表に整理することに関心を広げ、次の問題解決につなげる。	・2つの観点から起こり得る場合を分類整理し、二次元表に表して特徴を調べることができる。	
			③④2つの観点から起こり得る場合を分類整理し、二次元表に表して特徴を調べることができる。	・学校の教室の様子の図をもとに、2つの観点から起こり得る場合を考えて、二次元表にまとめる。		
1	34～35	学んだことを使おう	⑤統計的な問題解決の方法を理解する。	・「データを集めて、表やグラフで伝えよう！」という目的意識から、図書室の利用の様子を調べて図書新聞を作る場合を例にして、統計的な問題解決の方法を知る。	・「問題-計画-データ-分析-結論」といった統計的な問題解決の方法を理解している。	
1	36～37	まとめ	⑥学習内容の理解を確認し、確実に身につける。	・単元のまとめをする。	・学習内容を理解し、基本的な問題を解決することができる。	・「整理のしかた」の学習のよさや見方・考え方を振り返っている。
			[統計まちがいクイズにちょうせん！]（p.158）	・選択的活動として、不適切に処理されたグラフや表をもとに導かれた統計的な結論の誤りについて考察する。 ★ワークシート「統計まちがいクイズにちょうせん！」を使って活動する。		

【主体的に学習に取り組む態度】は、単元全体を通じて評価する。
・データを分析したり二次元表に表したりすることについて、目的意識をもって主体的に考えたり、得られた結論について多面的に捉え考察したりしようとしている。

11 くらべ方

11月上旬～中旬（5時間）
p.38～46

◆単元の目標と評価規準

〇倍の数量関係について理解を深めるとともに、簡単な場合について、ある2つの数量の関係と別の2つの数量の関係とを比べる場合に割合を用いる場合があることを知り、図や式などを用いて、それらの関係の比べ方を考察する力を身につける。また、その過程において、比べ方について多面的に捉え検討してよりよい方法を粘り強く考える態度を養う。**【学習指導要領との関連 A(3)ア(イ)、C(2)ア(ア)、C(2)イ(ア)】**

・整数倍の意味について、基準量を1としたときにいくつにあたるかを表していることを理解している。また、簡単な場合について、ある2つの数量の関係と別の2つの数量の関係とを比べる場合に割合を用いる場合があることを知っている。**<知・技>**
・日常の事象における数量の関係に着目し、図や式などを用いて、ある2つの数量の関係と別の2つの数量の関係との比べ方を考察している。**<思・判・表>**
・ある2つの数量の関係と別の2つの数量の関係との比べ方について、よりよいものを求めて粘り強く考えたり、学習したことを生活や学習に活用しようとしたりしている。**<態度>**

◆指導計画と観点別評価規準

時	頁	小単元・小見出し	目標	学習活動（★は「デジタルコンテンツ」）	知識・技能	思考・判断・表現
4	38～45	（倍の計算）	①倍の意味と求め方について理解を深める。（第一用法）	・「乗り物の長さをくらべよう！」の活動をきっかけに、倍の問題場面を図や式に表すことに関心をもつ。 ・12mが3mの何倍かを求め、その求め方を図や式を用いて説明する。 ★まとめアニメ「倍を求める計算」を使って確認・説明する。	・整数倍の意味について、基準量を1としたときにいくつにあたるかを表していることを理解している。	・倍の問題場面の数量関係について、図や式などを用いて考えている。
			[倍の関係を表す式]	・「12mは3mの4倍」の関係は12÷3＝4の式で、「3mの4倍は12m」の関係は3×4＝12の式で表せることを対比して振り返る。		
			②比較量と倍がわかっているときの、基準量の求め方を理解する。（第三用法）	・もとにする重さの3倍が18tの場面で、基準量を□tとして式に表し、基準量を求めるしかたを考える。	・比較量と倍がわかっている場合に、基準量を求めることができる。	
			[倍の問題を表した図と式]	・青いテープ7㎝の3倍の長さが赤いテープ21㎝の場面で、テープ図と式を関連づけて捉え、倍の問題を表した数直線の見方を知る。		
			③④2つの数量の関係どうしを比べる場合に、差ではなく割合で捉えることが妥当な場合があることを理解する。	・包帯Aのもとの長さと伸ばした長さの関係から、もとの長さを変えた場合に何㎝まで伸びるかについて、差と倍の見方で考え、その妥当性を話し合うことをとおして、割合の意味を知る。 ・包帯Bについても伸び方の割合を求め、包帯Aの伸び方と比較する。 ★まとめアニメ「割合」を使って確認・説明する。	・簡単な場合について、ある2つの数量の関係と別の2つの数量の関係とを比べる場合に割合を用いる場合があることを理解している。	・ある2つの数量の関係と別の2つの数量の関係を図や式などに表し、場面にあった比べ方を考察している。
1	46	まとめ	⑤学習内容の理解を確認し、確実に身につける。	・単元のまとめをする。	・学習内容を理解し、基本的な問題を解決することができる。	・「くらべ方」の学習のよさや見方・考え方を振り返っている。

【主体的に学習に取り組む態度】は、単元全体を通じて評価する。
・ある2つの数量の関係と別の2つの数量の関係とを比べるような具体的な場面について、その意味や比べ方を粘り強く考えたり、生活や学習に活用しようとしたりしている。

◎ ふく習④

	頁	学習活動
	47	・「がい数」「垂直、平行と四角形」「式と計算」の復習をする。 ・単元12「小数のしくみとたし算、ひき算」に関わる既習事項を確認する。

12 小数のしくみとたし算、ひき算

11月中旬～12月上旬（13時間）
p.48～63

◆単元の目標と評価規準

〇小数のしくみや数の相対的な大きさについて理解を深め、小数の加法及び減法の計算のしかたについて、図や式などを用いて考える力を身につける。また、その過程を振り返り、十進数としての表現のよさに気づき生活や学習に活用しようとする態度を養う。**【学習指導要領との関連 A(4)ア(イ)(ウ)、A(4)イ(ア)】**

・小数が整数と同じしくみで表されていることを知るとともに、数の相対的な大きさについての理解を深めている。また、小数の加法及び減法の計算ができる。**<知・技>**

・数の表し方のしくみや数を構成する単位に着目し、計算のしかたを考えるとともに、それを日常生活に生かしている。**<思・判・表>**

・小数とその計算について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしたりしている。**<態度>**

◆指導計画と観点別評価規準

時	頁	小単元・小見出し	目標	学習活動（★は「デジタルコンテンツ」）	知識・技能	思考・判断・表現
6	48～55	0.1より小さい小数	①1/100の位までの小数のよみ方、表し方、数の構成を理解する。	・「水のかさは何Lかな？」の活動をきっかけに、0.1Lに満たない端数部分のかさの表し方に関心をもつ。 ・1.5Lとあと少しのかさをL単位で表すことをとおして、0.1Lの1/10が0.01Lであることを知る。また、1.5Lと0.08Lをあわせたかさを、1.58Lと表すことを知る。 ★まとめアニメ「れい点れいーリットル」を使って確認・説明する。	・1/100の位までの小数のよみ方、表し方、数の構成を理解している。	・1に満たない大きさを表すために0.1の単位を作ったときの考えをもとに、0.01などの単位を作ることを考えている。
			②1/1000の位までの小数のよみ方、表し方、数の構成を理解する。	・798mをkm単位で表すことをとおして、0.01kmの1/10が0.001kmであることを知る。また、798mが0.798kmと表すことを知る。 ★まとめアニメ「れい点れいれいーキロメートル」を使って確認・説明する。	・1/1000の位までの小数のよみ方、表し方、数の構成を理解している。	
			③1、0.1、0.01、0.001の関係を調べ、小数が整数と同じしくみになっていることを理解する。	・1、0.1、0.01、0.001の関係を調べ、1/10、1/100、1/1000や、10倍、100倍、1000倍になっていることを知る。	・1と0.1、0.01、0.001の関係を調べ、小数が整数と同じしくみになっていることを理解している。	・小数の表し方のしくみや大きさについて、整数の場合と関連づけて考えている。
			④十進位取り記数法をもとに、小数の位取り(1/100の位、1/1000の位)を理解する。	・2.618のしくみを調べることをとおして、小数の位取り(1/100の位、1/1000の位)と、整数、小数の十進数としてのしくみを知る。 ★まとめアニメ「1/100の位、1/1000の位」を使って確認・説明する。	・十進位取り記数法をもとに、小数の位取り（1/100の位、1/1000の位）を理解している。	
			⑤数の相対的な大きさ、小数の大小について理解する。	・数直線や数の構成をもとに、1.36は0.01のいくつ分かを考える。 ・小数の大小比較のしかたを考える。	・数の相対的な大きさ、小数の大小について理解している。	
			⑥小数を10倍、1/10にした数の大きさと表し方を理解する。	・3.48を10倍、1/10にした数の大きさを調べることをとおして、小数も10倍すると位が1桁上がり、1/10にすると位が1桁下がることを知る。 ★まとめアニメ「10倍、1/10にした大きさ」を使って確認・説明する。	・小数も整数と同じしくみで表されていて、10倍すると位が1桁上がり、1/10にすると位が1桁下がることを理解している。	

6	56～61	小数のたし算、ひき算	[つながるミカタ]	・小数のしくみや大きさなどについて、「0.1や0.01のいくつ分」とみて整数と同様に考えたことを振り返り、1/100の位までの小数の加法や減法にも関心を広げて、次の問題解決につなげる。	・小数の加法についての理解を深め、1/100の位までの小数の加法の計算ができる。	・1/100の位までの小数の加法及び減法の計算のしかたを、整数の計算のしかたなどと関連づけて考えている。
			⑦1/100の位までの小数の加法の計算のしかたを理解する。	・1.53+2.41のような、1/100の位までの小数の加法の計算のしかたを考える。		
			⑧末尾の位がそろっていない小数の加法の計算のしかたを理解し、筆算ができる。	・1.3+1.62のような、末尾の位がそろっていない小数の加法の計算のしかたを考え、小数の加法の筆算のしかたをまとめる。 ★まとめアニメ「1.3+1.62の筆算のしかた」を使って確認・説明する。	・末尾の位がそろっていない小数の加法の計算のしかたを理解し、筆算ができる。	
			⑨和の末位が0になる場合や、整数と小数の加法の計算ができる。	・0.526+0.374のような、和の末位が0になる加法の計算のしかたを考える。 ・3.72+7のような、小数と整数の加法の計算のしかたを考える。	・和の末位が0になる場合や、整数と小数の加法の筆算ができる。	
			⑩1/100の位までの小数の減法の計算のしかたを理解する。	・3.89−2.63のような、1/100の位までの小数の減法の計算のしかたを考える。	・小数の減法についての理解を深め、1/100の位までの小数の減法の計算ができる。	
			⑪末尾の位がそろっていない小数の減法の計算のしかたを理解し、筆算ができる。また、整数と小数の減法の計算ができる。	・6.4−1.73のような、末尾の位がそろっていない小数の減法の計算のしかたを考え、小数の減法の筆算のしかたをまとめる。 ★まとめアニメ「6.4−1.73の筆算のしかた」を使って確認・説明する。 ・3−0.456のような、整数−小数の減法の計算のしかたを考える。	・末尾の位がそろっていない小数の減法の計算のしかたを理解し、筆算ができる。また、整数と小数の減法の筆算ができる。	
		（計算のきまり）	⑫加法の交換法則、結合法則が小数でも成り立つことを理解する。	・○、△、□にいろいろな小数をあてはめて、加法の交換法則、結合法則が小数でも成り立つことを確かめる。	・加法の交換法則、結合法則が小数でも成り立つことを理解している。	
1	62～63	まとめ	⑬学習内容の理解を確認し、確実に身につける。	・単元のまとめをする。	・学習内容を理解し、基本的な問題を解決することができる。	・「小数のしくみとたし算、ひき算」の学習のよさや見方・考え方を振り返っている。

【主体的に学習に取り組む態度】は、単元全体を通じて評価する。

・小数のしくみ、及び小数の加法、減法の計算のしかたについて、学習したことを関連づけながら粘り強く考えたり、振り返ってよりよい方法を見いだそうとしたりしている。

13 変わり方

12月上旬～中旬 （5時間）
p.64～71

◆単元の目標と評価規準

〇伴って変わる2つの数量について、変化の様子を表や式、折れ線グラフを用いて表すことができるとともに、それらを用いて変化や対応の特徴を考察する力を身につける。また、その過程を振り返り、関数の考えのよさに気づき生活や学習に活用しようとする態度を養う。**【学習指導要領との関連 A(6)ア(イ)(ウ)、A(6)イ(ア)、C(1)ア(ア)、C(1)イ(ア)】**

・変化の様子を表や式、折れ線グラフを用いて表したり、変化の特徴をよみ取ったりすることができる。**<知・技>**

・伴って変わる2つの数量を見いだして、それらの関係に着目し、表や式を用いて変化や対応の特徴を考察している。**<思・判・表>**

・伴って変わる2つの数量について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしたりしている。**<態度>**

◆指導計画と観点別評価規準

時	頁	小単元・小見出し	目標	学習活動（★は「デジタルコンテンツ」）	知識・技能	思考・判断・表現
4	64～70		①②伴って変わる2つの数量の関係を表に表し、変化の特徴を調べることができる。また、その関係を式やグラフに表すことができる。 (x+y=aの関係)	・「ともなって変わる数を見つけよう！」の活動をきっかけに、身のまわりにある一方が変わると、伴ってもう一方も変わる数量に関心をもつ。 ・18cmのひもで長方形を作るときの、横の長さと縦の長さの関係を表に表し、変化と対応の関係を調べたり、式やグラフに表したりする。(和が一定)	・伴って変わる2つの数量の関係を表に表して調べたり、和が一定の関係を〇、△などを用いた式や折れ線グラフに表したりすることができる。	・伴って変わる2つの数量を見つけ、表や式、折れ線グラフを用いて変化や対応の特徴を考察している。
			③伴って変わる2つの数量の関係を表に表し、変化の特徴を調べることができる。また、その関係を式に表すことができる。 (y=axの関係)	・1辺が1cmの正方形の厚紙を階段状に並べていくときの、段数と周りの長さの関係を表に表し、変化と対応のきまりを調べたり、式に表したりする。(商が一定)	・伴って変わる2つの数量の関係を表に表して調べたり、商が一定の関係を〇、△などを用いた式に表したりすることができる。	
			[つながるミカタ]	・変わり方のきまりを見つけるとき、「ともなって変わる数といつも変わらない数」に着目したことを振り返り、身のまわりのほかの数量の関係にも関心を広げて、次の問題解決につなげる。	・伴って変わる2つの数量の関係を〇、△などを用いた式に表し、式をもとに表に表すことができる。	
			④伴って変わる2つの数量の関係を式に表し、式をもとに表に表して変化の特徴を調べることができる。 (y=axの関係)	・30円の菓子を何個か買う場合の個数と代金の関係を式に表し、式をもとに表に表して変化の特徴を調べる。(商が一定)		
1	71	まとめ	⑤学習内容の理解を確認し、確実に身につける。	・単元のまとめをする。	・学習内容を理解し、基本的な問題を解決することができる。	・「変わり方」の学習のよさや見方・考え方を振り返っている。
			[つるは何びき？かめは何びき？] (p.159)	・選択的活動として、緑表紙教科書に掲載されていた「鶴亀算」の問題を考える。 ★ワークシート「つるは何びき？かめは何びき？」を使って活動する。		

【主体的に学習に取り組む態度】は、単元全体を通じて評価する。

・表や式、グラフに表された変化や対応の特徴を振り返り、それぞれの表し方のよさに気づき、主体的に考察を進めようとしている。

14 そろばん

12月中旬（2時間）
p.72～74

◆単元の目標と評価規準

〇そろばんによる数の表し方を理解し、加法及び減法の計算ができるとともに、そろばんのしくみに着目し、大きな数や小数の表し方及び計算のしかたを考える力を身につける。また、その過程を振り返り、そろばんのよさに気づき生活や学習に活用しようとする態度を養う。**【学習指導要領との関連 A(8)ア(ア)、A(8)イ(ア)】**

・そろばんによる数の表し方を理解し、加法及び減法の計算ができる。**<知・技>**
・そろばんのしくみに着目し、大きな数や小数の表し方及び計算のしかたを考えている。**<思・判・表>**
・そろばんについて、数学的に表現・処理したことを振り返り、数学のよさに気づき学習したことを学習に活用しようとしたりしている。**<態度>**

◆指導計画と観点別評価規準

時	頁	小単元・小見出し	目標	学習活動（★は「デジタルコンテンツ」）	知識・技能	思考・判断・表現
2	72～74	（数の表し方）	①そろばんによる整数や小数の表し方、10倍、100倍した大きさの数の表し方を理解する。	★シミュレーション「そろばん」を使って活動する。 ・十進位取り記数法による数の表し方をもとに、そろばんでの整数や小数の表し方を知る。 ・そろばんを使って、0.25を10倍、100倍した数を表す。	・そろばんを使って、億や兆の単位までの整数や1/100の位までの小数を表したり、10倍、100倍した大きさの数を表したりすることができる。	・そろばんには十進位取り記数法のしくみが用いられていることに着目し、大きな数や小数の表し方及び加法、減法の計算のしかたを考えている。
		（そろばんの計算）	②そろばんを使って、整数どうしの加減計算、大きな数や小数の加減計算ができる。	・53＋24のような、整数どうしの加法の計算のしかたを知る。 ・87－64のような、整数どうしの減法の計算のしかたを知る。 ・基本的な加法、減法の珠の動かし方をもとに、大きい数や小数の加減計算のしかたを考える。	・そろばんを使って、整数どうしの加減計算、大きな数や小数の加減計算ができる。	
			[数を入れると、おつりが見える?]	・入れていない珠を見ておつりを判断する方法を知る。		

【主体的に学習に取り組む態度】は、単元全体を通じて評価する。
・そろばんのしくみのよさに気づき、大きな数や小数の計算のしかたを考えようとしている。

■ 方眼で九九を考えよう

12月下旬（1時間）
p.75

時	頁	小単元・小見出し	目標	学習活動（★は「デジタルコンテンツ」）	知識・技能	思考・判断・表現
1	75		①方眼の図をもとに面積と乗法の式を関連づけて捉え、分配法則についての理解を深める。	★シミュレーション「九九の表」、ワークシート「方眼九九の図」を使って活動する。 ・九九の答えを方眼のます目で表したものを使って、5×3+5×4=5×7になることを説明したり、九九の総和を求めたりする。		・分配法則が成り立つことや九九の総和の求め方を、方眼の図をもとに面積と乗法の式を関連づけて考えている。

◎ ふく習⑤

	頁	学習活動
	76	・「面積」「整理のしかた」の復習をする。 ・単元15「小数と整数のかけ算、わり算」に関わる既習事項を確認する。

15 小数と整数のかけ算、わり算

1月上旬～2月上旬（15時間）
p.77～97

◆単元の目標と評価規準

〇小数×整数の乗法、小数÷整数の除法の意味、及び小数を用いた倍について理解し、計算することができるとともに、図や式などを用いて計算のしかたを考える力を身につける。また、その過程において、計算のしかたを多面的に捉え検討してよりよい方法を粘り強く考える態度を養う。**【学習指導要領との関連 A(4)ア(ア)(エ)、A(4)イ(ア)、内(5)】**

・小数×整数の乗法、小数÷整数の除法の意味について理解し、それらの計算ができる。また、ある量の何倍かを表すのに小数を用いることを知っている。**<知・技>**

・数の表し方のしくみや数を構成する単位に着目し、計算のしかたを考えるとともに、それを日常生活に生かしている。**<思・判・表>**

・小数×整数の乗法、小数÷整数の除法について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしたりしている。**<態度>**

◆指導計画と観点別評価規準

時	頁	小単元・小見出し	目標	学習活動（★は「デジタルコンテンツ」）	知識・技能	思考・判断・表現
4	77～82	小数に整数をかける計算	①純小数×整数の乗法の計算のしかたを理解する。	・「6人分の材料は？」の活動をきっかけに、既習の計算を振り返るとともに、未習の問題に取り組むことに関心をもつ。 ・0.2×6のような、純小数×整数の乗法の計算のしかたを考える。	・純小数×整数の乗法の計算のしかたを理解し、計算ができる。	・乗数が整数である場合の小数の乗法の計算のしかたを、小数の意味や既習の計算などをもとに図や式などを用いて考えている。
			②小数×整数の乗法の計算のしかたを理解し、筆算ができる。	・1.2×7のような、小数×整数の乗法の計算のしかたを考え、筆算のしかたをまとめる。 ★まとめアニメ「1.2×7の筆算のしかた」を使って確認・説明する。	・小数×整数の乗法の筆算形式を知り、筆算ができる。	
			③小数×整数で、乗数が2位数の場合や、被乗数が1/100の位までの小数の乗法の計算ができる。	・2.7×32のような、乗数が2位数の乗法の計算のしかたを考える。 ・1.24×8のような、被乗数が1/100の位までの小数の乗法の計算のしかたを考える。	・小数×整数で、乗数が2位数の場合や、被乗数が1/100の位までの小数の乗法の筆算ができる。	
			④小数×整数で、積の末位が0になる場合や、被乗数が1/1000の位までの小数の乗法の計算ができる。	・1.35×4のような、積の末位が0になる場合の乗法の計算のしかたを考える。 ・0.034×17のような、被乗数が1/1000の位までの小数の乗法の計算のしかたを考える。	・小数×整数で、積の末位が0になる場合や、被乗数が1/1000の位までの小数の乗法の筆算ができる。	
		小数を整数でわる計算	[つながるミカタ]	・小数×整数の計算のしかたについて、「0.1をもとにしたり、10倍したりして、整数の計算をもとにする」という見方を振り返り、除法の場合にも関心を広げ、次の問題解決につなげる。	・小数÷整数の除法の計算のしかたを理解し、計算ができる。	・除数が整数である場合の小数の除法の計算のしかたを、小数の意味や既習の計算などをもとに図や式などを用いて考えている。
			⑤小数÷整数の除法の計算のしかたを理解する。	・3.6÷3のような、小数÷整数の除法の計算のしかたを考える。		
			⑥小数÷整数の除法の計算のしかたを理解し、筆算ができる。	・13.6÷4のような、小数÷整数の除法の計算のしかたを考え、筆算のしかたをまとめる。 ★まとめアニメ「13.6÷4の筆算のしかた」を使って確認・説明する。	・小数÷整数の除法の筆算形式を知り、筆算ができる。	
			⑦小数÷整数で、商が1より小さくなる場合や、除数が2位数の場合の除法の計算ができる。	・5.4÷6のような、商が1より小さくなる場合の除法の計算のしかたを考える。 ・78.2÷23のような、除数が2位数の除法の計算のしかたを考える。	・小数÷整数で、商が1より小さくなる場合や、除数が2位数の場合の除法の筆算ができる。	
			⑧小数÷整数で、被除数が1/100の位、1/1000の位までの小数の除法の計算ができる。	・8.67÷3のような、被除数が1/100の位までの小数の除法の計算のしかたを考える。 ・9.826÷34のような、被除数が1/1000の位までの小数の除法の計算のしかたを考える。	・小数÷整数で、被除数が1/100の位、1/1000の位までの小数の除法の筆算ができる。	

9	83～94	（わり進むわり算）	⑨わり進む除法の計算のしかたを理解する。	・2.6mのリボンを4等分する場面で、わり進んで答えを求める除法の計算のしかたを考える。 ・13÷4のような、整数÷整数でわり進む除法の計算のしかたを考える。	・小数÷整数、整数÷整数の除法で、わり進む計算のしかたを理解し、筆算ができる。	・2.6を2.60とみたり13を13.00とみたりするなどして、わり進む除法の意味や計算のしかたを考えている。
		（商の四捨五入）	⑩わり進む除法で、商を四捨五入して概数で表す場合の計算のしかたを理解する。	・8mのリボンを3等分する場面で、商を四捨五入して概数で求める除法の計算のしかたを考える。	・わり進む除法で、商を四捨五入して概数で表す場合の計算のしかたを理解し、筆算ができる。	
		（あまりのあるわり算）	⑪小数÷整数の除法のあまりの大きさについて理解する。	・8.5cmのテープを3cmずつ切る場面で、あまりを出す除法の計算のしかたを考える。 ★まとめアニメ「小数のわり算のあまり」を使って確認・説明する。	・小数÷整数の除法のあまりの大きさについて理解し、筆算ができる。	・わり進まずにあまりを出す場合の除法の意味や計算のしかたを考えている。
		（倍の計算）	⑫何倍かを表す数が小数になる場合があることを理解する。(帯小数倍)	・80cmのリボンは40cmのリボンの何倍かを求めることをとおして、倍の計算について振り返る。 ・40cmのリボンと100cmのリボンの長さを比べることをとおして、2.5倍のように何倍かを表す数が帯小数になる場合があることを知る。	・何倍かを表す数が小数になる場合があることを理解している。	・倍の意味について、図や式などをもとに小数の場合に拡張して考えている。
			⑬何倍かを表す数が小数になる場合があることを理解する。(純小数倍)	・80cmのリボンと40cmのリボンの長さを比べることをとおして、0.5倍のように何倍かを表す数が純小数になる場合があることを知る。	・何倍かを表す数が純小数になる場合も含めて、小数を用いた倍の意味を理解し、倍を求めることができる。	
			[割合が小数になるとき]*	・2つの数量の関係を割合を用いて表し比べるときに、割合が小数になる場合があることを知る。		
1	95	学んだことを使おう	⑭身のまわりの事象を数理的に捉え、小数と整数の乗法、除法を活用できる場面を見いだすことができる。	・「小数のかけ算、わり算の問題をつくろう!」という目的意識から、学校の階段の1段分の高さをもとに1階から3階までの高さを求めるなど、乗法、除法を適用して解決できる場面を探して問題を作り、友だちと問題を解き合う。		・身のまわりの事象を数理的に捉え、小数×整数や小数÷整数の計算が適用できる場面を見いだしている。
1	96～97	まとめ	⑮学習内容の理解を確認し、確実に身につける。	・単元のまとめをする。	・学習内容を理解し、基本的な問題を解決することができる。	・「小数と整数のかけ算、わり算」の学習のよさや見方・考え方を振り返っている。
			[紙を折って富士山をめざそう!] (p.160～161)	・選択的活動として、厚さ0.1mmの紙を何回折って重ねると富士山の高さを超えるか考える。 ★ワークシート「紙を折って富士山をめざそう!」を使って活動する。		
			[もっと小さい小数]*	・分、厘、毛、…などの小数の位の呼び方を知り、1/1000の位よりも下の位があることを知る。		

【主体的に学習に取り組む態度】は、単元全体を通じて評価する。

・小数×整数の乗法、小数÷整数の除法の計算のしかたについて、既習の計算などをもとに粘り強く考えたり、数学的に表現・処理したことを振り返り多面的に検討してよりよい方法を見いだそうとしたりしている。

◎ ふく習⑥

	頁	学習活動
	98～99	・「くらべ方」「小数のしくみとたし算、ひき算」「変わり方」「小数と整数のかけ算、わり算」の復習をする。 ・単元16「立体」に関わる既習事項を確認する。

16 立体

2月上旬～中旬 （9時間）
p.100～115

◆単元の目標と評価規準

〇直方体や立方体について理解し、見取図や展開図による表現や構成のしかたを考察して図形の性質を見いだしたり、日常の事象を図形の性質から捉え直したりする力を身につけるとともに、ものの位置の表し方について理解し、数を用いて位置を表現する方法を考察する力を身につける。また、その過程を振り返り、図形の性質や表現を生活や学習に活用しようとする態度を養う。**【学習指導要領との関連 B(2)ア(ア)(イ)(ウ)、B(2)イ(ア)、B(3)ア(ア)、B(3)イ(ア)】**

・直方体や立方体、及びそれらに関連して直線や平面の平行や垂直の関係について理解し、見取図や展開図を作図することができる。また、ものの位置の表し方について理解している。**<知・技>**

・図形を構成する要素及びそれらの位置関係に着目し、立体図形の平面上での表現や構成のしかたを考察し図形の性質を見いだしているとともに、日常の事象を図形の性質から捉え直している。また、平面や空間における位置を決める要素に着目し、その位置を数を用いて表現する方法を考察している。**<思・判・表>**

・直方体や立方体、及びものの位置の表し方について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしたりしている。**<態度>**

◆指導計画と観点別評価規準

時	頁	小単元・小見出し	目標	学習活動（★は「デジタルコンテンツ」）	知識・技能	思考・判断・表現
6	100～110	直方体と立方体	①直方体、立方体の意味を理解する。	・「箱の形をあてよう！」の活動をきっかけに、箱の特徴を言葉で伝えることをとおして、立体図形の構成要素に関心をもつ。 ・箱を面の形に着目して分類し、直方体、立方体について知る。 ★まとめアニメ「直方体と立方体」を使って確認・説明する。	・直方体、立方体の意味を理解している。	・図形を構成する要素及びそれらの位置関係に着目して立体図形を分類し、直方体や立方体の性質を考察している。
			②直方体、立方体の構成要素(面、頂点、辺)や、平面の意味を理解する。	・長方形や正方形の厚紙を使って直方体、立方体を作り、面の形と数を調べる。 ・直方体や立方体の面、頂点、辺の数を調べ、表にまとめる。 ・「平面」の用語を知る。	・直方体、立方体の構成要素（面、頂点、辺）やそれらの数、及び平面の意味を理解している。	
		（面や辺の垂直、平行）	③④直方体、立方体の構成要素（面、辺）の平行、垂直関係を理解する。	・直方体、立方体の、面と面の平行や垂直を調べる。 ★まとめアニメ「面と面の平行」「面と面の垂直」を使って確認・説明する。 ・直方体、立方体の、面と辺の平行や垂直を調べる。 ★まとめアニメ「面と辺の平行」「面と辺の垂直」を使って確認・説明する。 ・直方体、立方体の、辺と辺の平行や垂直を調べる。 ★まとめアニメ「辺と辺の平行」「辺と辺の垂直」を使って確認・説明する。	・直方体、立方体の構成要素（面、辺）の平行、垂直関係を理解している。	
			[つながるミカタ]	・立体の特徴を調べるときの観点として、面の形が「長方形や正方形」であることや、「面の垂直、平行」の関係などに着目したことを振り返り、平面から立体を作ることにも関心を広げ、次の問題解決につなげる。	・直方体の展開図を作図することができる。また、立方体の展開図から構成要素の関係をよみ取ることができる。	・直方体や立方体の展開図、見取図の作図や観察をとおして、図形を構成する要素及びそれらの位置関係に着目している。

		（展開図と見取図）	⑤展開図の意味を理解し、直方体の展開図をかくことができる。 立方体の展開図から構成要素の関係をよみ取ることができる。	・直方体を切り開くことをとおして展開図について知り、展開図をかく。 ★シミュレーション「直方体の展開図」を使って活動する。 ・展開図を組み立てたときに重なる頂点や辺、平行や垂直になる面の関係について調べる。 ★シミュレーション「立方体の展開図」を使って活動する。		
			⑥見取図の意味を理解し、直方体、立方体の見取図をかくことができる。また、直方体、立方体の大きさを決定する要素について理解する。	・直方体、立方体の形を表現する方法として見取図について知り、見取図をかく。 ★まとめアニメ「見取図」を使って確認・説明する。 ・直方体の大きさは縦、横、高さの3辺の長さで、立方体の大きさは1辺の長さで決まることを知る。	・直方体や立方体の見取図を作図することができる。また、直方体や立方体の大きさを決定する要素について理解している。	
1	11～12	位置の表し方	⑦平面上にある点の位置や、空間の中にある点の位置の表し方を理解する。	・公園の絵図を見て、平面の上にある点の位置を2方向の長さで表す。 ★まとめアニメ「平面上の点の位置の表し方」を使って確認・説明する。 ・空間の中にある点の位置を3方向の長さで表す。 ★まとめアニメ「空間にある点の位置の表し方」を使って確認・説明する。	・ものの位置を表す際、平面上では2つの要素が必要で、空間の中では3つの要素が必要であることを理解し、表すことができる。	・平面の上や空間の中でのものの位置の表し方を考えている。
1	13	学んだことを使おう	⑧ペントミノから立方体の展開図を考え、面と面のつながりや、立体図形と平面図形の関係について理解を深める。	・「ペントミノから立方体の展開図を作ろう！」という目的意識から、ペントミノに正方形をもう1枚つなげて、立方体の展開図を考える。		・立方体の構成要素の位置関係などを根拠にして、展開図のそれぞれの面の位置について筋道を立てて考えている。
1	14～15	まとめ	⑨学習内容の理解を確認し、確実に身につける。	・単元のまとめをする。	・学習内容を理解し、基本的な問題を解決することができる。	・「立体」の学習のよさや見方・考え方を振り返っている。
			［箱を開くとくふうがいっぱい！］（p.162～163）	・選択的活動として、身のまわりにある箱に関心をもち、段ボール箱やケーキの箱が、どのような1枚の平面から作られているのかを知る。 ★ワークシート「箱を開くとくふうがいっぱい！」を使って活動する。		

【主体的に学習に取り組む態度】は、単元全体を通じて評価する。

・既習の図形の見方などをもとに、直方体や立方体の性質や、見取図や展開図の作図のしかたを主体的に考えたり、図形の性質やものの位置の表し方を生活や学習に活用しようとしたりしている。

★本単元で、まなびリンク「プログラミング教材」を使用して、p.165「ゴールをめざそう！」の活動を扱うことができる。

17 分数の大きさとたし算、ひき算

2月下旬～3月上旬（10時間）
p.116～130

◆単元の目標と評価規準

〇簡単な場合について大きさの等しい分数があることを知り、大きさの等しい分数を探したり、同分母の分数の加法及び減法の計算のしかたを図や式などを用いて考えたりする力を身につける。また、その過程を振り返り、分数の表現のよさに気づき生活や学習に活用しようとする態度を養う。**【学習指導要領との関連 A(5)ア(ア)(イ)、A(5)イ(ア)】**

・簡単な場合について、大きさの等しい分数があることを知っている。また、同分母の分数の加法及び減法の計算ができる。**<知・技>**
・数を構成する単位に着目し、大きさの等しい分数を探したり、同分母の分数の加法及び減法の計算のしかたを考えたりしているとともに、それを日常生活に生かしている。**<思・判・表>**
・分数とその加法及び減法について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしたりしている。**<態度>**

◆指導計画と観点別評価規準

時	頁	小単元・小見出し	目標	学習活動（★は「デジタルコンテンツ」）	知識・技能	思考・判断・表現
3	116～121	1より大きい分数	①1より大きい分数の表し方や、「真分数」「仮分数」「帯分数」の意味を理解する。	・「道のりは何kmかな？」の活動をきっかけに、既習の分数を振り返るとともに、1より大きい分数に関心をもつ。 ・1/3kmの5個分の道のりを表すことをとおして、整数部分の1kmと分数部分の2/3kmをあわせて、1 2/3kmと表すことを知る。 ・「真分数」「仮分数」「帯分数」の意味を知る。 ★まとめアニメ「真分数、仮分数、帯分数」を使って確認・説明する。 ・真分数、仮分数、帯分数を数直線に表したり、同分母の仮分数、同分母の帯分数の大小を比べたりする。 ★まとめアニメ「真分数、帯分数、仮分数の大きさ」を使って確認・説明する。	・1より大きい分数の表し方や、「真分数」「仮分数」「帯分数」の意味を理解し、数直線を用いて分数の大きさを表すことができる。	・分数の大きさを、数直線や図などで表したり、分数が表された数直線や図をよみ取ったりして、分数の大きさについて判断したり表現したりしている。
			②帯分数を仮分数で、仮分数を帯分数で表すしかたを理解する。	・2 3/5のような帯分数を仮分数で表すしかたを考える。 ・11/5のような仮分数を帯分数で表すしかたを考える。	・帯分数を仮分数で、仮分数を帯分数で表すことができる。	
			③仮分数と帯分数の大小比較のしかたを理解する。	・25/7と3 5/7のような仮分数と帯分数の大小比較のしかたを考える。 ★まとめアニメ「仮分数と帯分数の大きさの比べ方」を使って確認・説明する。	・仮分数と帯分数の大小を比べることができる。	
1	123	122～ 大きさの等しい分数	④大きさの等しい分数があることを理解する。	・面積図を用いて、1/3、2/6、3/9のように大きさの等しい分数があることを知る。 ・数直線を用いて、いろいろな分数の大きさを調べる。 ★まとめアニメ「大きさの等しい分数」を使って確認・説明する。	・簡単な場合について、大きさの等しい分数があることを理解している。	
4	124～127	分数のたし算とひき算	[つながるミカタ]	・仮分数や帯分数も、「単位分数をもとにして」大きさを表したことを振り返り、加法や減法にも関心を広げて、次の問題解決につなげる。	・同分母の分数の加法について理解を深め、真分数や仮分数の加法の計算ができる。	・同分母の分数の加法、減法の計算のしかたを、既習の計算や分数の意味をもとに図や式などを用いて考えている。
			⑤同分母の分数の加法の計算のしかたを理解する。	・4/5+3/5のような、同分母の分数の加法の計算のしかたを考える。		
			⑥同分母の帯分数の加法の計算のしかたを理解する。	・2 1/5+1 3/5のような、帯分数の加法の計算のしかたを考える。 ・1 2/5+2 4/5のような帯分数の加法で、真分数部分の和が仮分数になる場合の計算のしかたを考える。	・同分母の帯分数の加法の計算ができる。	
			⑦同分母の分数の減法の計算のしかたを理解する。	・7/5−4/5のような、同分母の減法の計算のしかたを考える。	・同分母の分数の減法について理解を深め、真分数や仮分数の減法の計算ができる。	

			⑧同分母の帯分数の減法の計算のしかたを理解する。	・２４/5−１１/5のような、帯分数の減法の計算のしかたを考える。 ・３１/5−１２/5のような帯分数の減法で、そのままでは真分数部分がひけない場合の計算のしかたを考える。	・同分母の帯分数の減法の計算ができる。	
1	128	学んだことを使おう	⑨時間を分数を用いて表し、大きさの等しい分数について理解を深める。*	・「時間を分数で表そう!」という目的意識から、時計の文字盤を見て、1分間が1/60時間であることを知り、30分間を分数で表すしかたを考える。		・時計の目盛りを用いて、分数の意味や大きさの等しい分数の表現に着目して、時間を分数で表すしかたを考えている。
1	129〜130	まとめ	⑩学習内容の理解を確認し、確実に身につける。	・単元のまとめをする。	・学習内容を理解し、基本的な問題を解決することができる。	・「分数の大きさとたし算、ひき算」の学習のよさや見方・考え方を振り返っている。
			[分数や小数はいつ生まれたの?](p.164)*	・選択的活動として、分数や小数の歴史に関心をもち、それらが誕生したころの表し方を知る。 ★ワークシート「分数や小数はいつ生まれたの?」を使って活動する。		

【主体的に学習に取り組む態度】は、単元全体を通じて評価する。

・大きさの等しい分数、同分母の分数の加法及び減法の計算のしかたについて、学習したことを関連づけながら粘り強く考えたり、振り返ってよりよい方法を見いだそうとしたりしている。

■ 部屋分けパズル

3月上旬（1時間）
p.131

時	頁	小単元・小見出し	目標	学習活動	知識・技能	思考・判断・表現
1	131		①1つの数をほかの数の積とみることや面積についての理解を深め、筋道を立てて考える力を伸ばす。	・指定された面積に部屋を区切るパズルに取り組む。		・1つの数をほかの数の積とみて分解して面積公式を適用するなど、部屋分けパズルの解決のしかたを筋道を立てて考えている。

● 算数を使って考えよう

3月中旬（2時間）
p.132〜135

時	頁	小単元・小見出し	目標	学習活動	知識・技能	思考・判断・表現
2	132〜135	（3R スリーアール）	①②知識・技能等を活用し、課題解決のための構想を立て、筋道を立てて考えたり、数学的に表現したりすることができる。	・リサイクルに関するアンケート結果をまとめた表をもとに、データをよみ取ったり、棒グラフに表したりする。また、市のごみの量と人口に関するグラフを説明する記事を見て、この説明が正しいかどうかを判断し、理由を説明する。		・表やグラフを用いて表されたデータを分析したり、よみ取った結論について多面的に考察したりするなど、算数の学習を活用して考え表現している。
		（教室の面積）		・教室についてわかっている情報を活用して、教室の面積の求め方を考え、説明する。		・日常の場面から算数の問題を見いだし、面積などの学習を活用して解決したり、言葉や図、式などを用いて説明したりするなど、算数の学習を活用して考え表現している。

【主体的に学習に取り組む態度】は、単元全体を通じて評価する。

・数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしたりしている。

◎ 4年のまとめ

3月中旬（2時間）
p.136～140

時	頁	小単元・小見出し	目標	学習活動	知識・技能	思考・判断・表現
2	136～140		①②第4学年の学習内容の問題を解決することができる。	・数と計算、図形、変化と関係、データの活用についての問題に取り組む。	・第4学年の学習内容について、知識及び技能を身につけている。	

【主体的に学習に取り組む態度】は、単元全体を通じて評価する。
・第4学年の学習内容について自らの学習状況を振り返り、それらが確実に身につくように粘り強く取り組もうとしている。

■ プログラミングにちょうせん 「ゴールをめざそう！」

	頁	学習活動（★は「デジタルコンテンツ」）
	165	・カードを使って、車が進む数や向きを指示し、点アを通って点イの位置まで車を走らせる。また、点の位置を変えた場合のプログラムも考える。 ★プログラミング教材「ゴールをめざそう！」を使って活動する。